

## 〔沿岸域環境科学教育研究センター〕

### 37 - 36 八代海の環境変動の要因分析に関する研究

沿岸域環境科学教育研究センター	教 授	滝 川 清
環境システム工学科	助 手	田 中 健 路
大学院自然科学研究科	前期過程	森 英 次
大学院自然科学研究科	前期過程	渡 辺 柁
技術部環境建設技術系	技術職員	外 村 隆 臣
独立総合研究所		青 山 千 春

有明海と同様、環境悪化の悪循環に陥っていると懸念される八代海の環境変化の要因分析を行なうにあたり、水質や気象などの過去 26 年間のデータを用いて整理と解析を行なった。その結果、水質環境の変動特性により 5 つの海域に分類でき、夏季には海域全体にわたって強い密度成層が形成されており、特に湾奥部では貧酸素化が出現しており、近年の硝化能力の低下とともに赤潮多発の増加傾向と一致していることが判明した。また、3次元の流動解析の結果、八代海の潮汐変動は有明海と連動していること、湾奥部での流動が中南部海域に対して停溜状態にあり水質環境の悪化傾向と一致していることなどが分かった。

(第 51 回海岸工学講演会論文集 pp.916-920 , 2004 年 11 月)